

9月定例県議会の概要



第312回定例県議会が、9月17日から10月7日までの21日間にわたって開かれ、議会に上程された議案について荒井知事から提案説明が行われました。

今議会では、総額26億1千万円余の平成25年度奈良県一般会計補正予算、条例案や請負契約の締結など、37議案が審議されました。

代表質問は9月20日、24日、25日に、一般質問は25日、26日の計4日間にわたって質疑が行われ、14人の議員が財政問題、復旧・復興対策、防災対策、地域振興対策、観光振興対策、福祉・医療問題、環境・エネルギー問題、経済・雇用対策、農林業問題、道路・河川整備、交通政策、教育問題、警察問題について質問し、活発な議論が交わされました。

また、会期中には、予算審査特別委員会及び決算審査特別委員会が設置され、付託された議案の審査が行われました。

閉会日の10月7日には、継続審査となった4議案を除きいずれも原案どおり可決、同意、承認並びに報告受理されました。

また、諮問案件については、「行政財産を使用する権利に関する処分に対する異議申立については、棄却すべきである。」と答申されました。

奈良県議会

だより

第19号

発行／奈良県議会 編集／議会広報委員会
 平成25年12月1日発行
 〒630-8501 奈良市登大路町30番地
 TEL 0742-27-8964
 奈良県議会だよりは年4回（6、8、12、2月）の発行予定です。

「がん検診を受けよう！」 街頭啓発が行われました

奈良県がんと向き合う日の10月10日に、奈良県新公会堂で「がん検診を受けよう！」奈良県民会議総会が開催され、構成団体である議会から16名の議員が出席しました。

総会では、平成25年度の奈良県の取組および会員取組方針等の紹介や、がん検診に関する知事表彰式、知事表彰団体による発表が行われました。総会終了後、県民会議による街頭啓発が近鉄奈良駅周辺及び近鉄奈良駅からJR奈良駅にかけて行われ、11名の議員が参加しました。



決算審査特別委員会を開催

議 会 TOPICS トピックス

予算審査特別委員会を開催



平成24年度奈良県水道用水供給事業費特別会計決算、奈良県病院事業費特別会計決算及び奈良県歳入歳出決算の認定、健全化判断比率及び資金不足比率の報告について審査するため、中野雅史議員（自由民主党）を委員長、粒谷友示議員（自由民主党改革）を副委員長とする決算審査特別委員会が9月26日に設置されました。

なお、これら4議案は、その内容を調査し、慎重に審査するため継続審査とされ、議会閉会中の10月9日から17日までの間で5日間委員会を開催し、各委員から活発な質疑があり、知事をはじめ関係者から詳細な説明が行われました。

審査の結果については、いずれも原案どおり認定されました。また、報告案件については、詳細な報告を受けました。

決算審査特別委員会委員（定数10名）

委員長 中野雅史（自由民主党）	委員 森山賀文（民主党）
副委員長 粒谷友示（自由民主党改革）	委員 上田 悟（自由民主党）
委員 藤野良次（民主党）	委員 荻田義雄（自由民主党改革）
委員 太田 敦（日本共産党）	委員 和田恵治（なら元気クラブ）
委員 田中惟允（自由民主党）	委員 山本進章（奈良維新の会）



平成25年度一般会計補正予算案、条例案、請負契約の締結などの付託議案を審査するため、神田加津代議員（自由民主党）を委員長、高柳忠夫議員（民主党）を副委員長とする予算審査特別委員会が設置されました。

委員会は、9月27日から10月2日まで開催され、各委員から活発な質疑があり、知事をはじめ関係者から詳細な説明が行われました。

審査の結果については、いずれも原案どおり可決または承認され、諮問案件については棄却すべきと答申されました。また、報告案件については、詳細な報告を受けました。

予算審査特別委員会委員（定数9名）

委員長 神田加津代（自由民主党）	委員 山村幸穂（日本共産党）
副委員長 高柳忠夫（民主党）	委員 安井宏一（自由民主党）
委員 宮本健一（自由民主党）	委員 中村 昭（自由民主党改革）
委員 大国正博（公明党）	委員 梶川慶二（なら元気クラブ）
委員 宮本次郎（日本共産党）	

代 表 質 問

新しい農業研究センター及び農業大学校
6次産業化研修拠点施設の整備について

中村 昭議員(自由民主党改革)

問 これらの施設を拠点としたまちづくりを行い、地域の活性化を図っていきたく考える。農業大学校の6次産業化研修拠点や新しい農業研究センターを含めた周辺地域の賑わいづくりについて、知事の強い決意をお聞きしたい。

答 桜井市阿部地区に整備する農業大学校の6次産業化研修拠点施設については、おいしい料理をゆっくりと堪能できる宿泊付きのレストランであるオーベルジュ研修について、力を注いで参りたいと考えている。

現在、「新農業大学校設立準備委員会」を立ち上げ、農業大学校全体のあるべき姿、学科の再編成、カリキュラム等について、詳細を検討しているところ。

今回整備する拠点施設の地域を「食と農の匠の技を持つ世界のトップクラスの料理人を育成するモデル的地域」にすべく、国家戦略特区として国に提案をしたところであり、桜井市や地元の皆様と一緒に賑わいづくりを進めて参りたい。

その他の質問項目

●政府予算編成に関する提案・要望活動●漢方のメッカ推進プロジェクト●スポーツの振興●「奈良県エネルギービジョン」の推進●消防の広域化にかかる県の取組●公共施設整備にかかるマネジメントの導入●森林環境税を活用した施業放置林の整備促進

全国豊かな海づくり大会の
開催について

神田 加津代議員(自由民主党)

問 大会開催に向けての機運醸成や、大会参加者への「おもてなし」も含め、どのような大会にしていこうと考えているのか、これまでと、今後の取組について伺いたい。

答 9月18日に開催した奈良県実行委員会総会において、大会名称「第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～」とするとともに、「式典行事」を大淀町内、「放流・歓迎行事」を川上村内での開催を決定したところ。

大会参加者への「おもてなし」は非常に重要であると考え、具体的取組として、式典行事等において本県の他に比類のない歴史文化の紹介や、奈良を堪能していただく観光プランの提供などを行うこととしている。

また、奈良県には海がないため、機運醸成は大変重要と認識しており、幅広く関係団体、関係機関のご協力をいただきながら、心して準備を進めて参る所存。

その他の質問項目

●紀伊半島大水害からの復旧・復興●女性が輝く奈良県づくり●地域の防犯力向上●保護観察対象者の雇用●小金打川の改修

中国・韓国との友好・交流による
平和と共存の実現について

小林 照代議員(日本共産党)

問 憲法を変えようとする流れが加速化し、中国・韓国との間で緊張が高まっているなかで、我が国の平和憲法を守り、両国との関係改善を進めることにより、この地域の平和と共存を図ることが重要であるが、県は中国・韓国との友好・交流をどのように進め、どのように平和と共存を実現しようとしているのか伺いたい。

答 本県では昭和63年に「国際文化観光・平和県」を宣言し、奈良県と歴史的にゆかりの深い中国・韓国を中心に国際交流を推進してきており、平成23年には中国陝西省、韓国忠清南道と友好提携を締結した。

また、相互理解を深めることを目的に、日中韓3ヶ国19地方政府によって「東アジア地方政府会合」を立ち上げたが、今では7ヶ国64地方政府が加盟するまでになった。

今後も、歴史的に繋がりの深い中国・韓国との交流を継続的に実施し、若い世代を中心とした交流を通じて、永続的な平和を希求する気運の醸成に努めて参りたい。

その他の質問項目

●消費税増税の県民に対する影響●原子力発電所の事故に対する対応等●生活保護制度の見直し等●TPPへの加入による県内小規模零細地場産業への影響

アスベストを含む建物の
無届解体について

高柳 忠夫議員(民主党)

問 工事の受注業者については、「倉庫の無届解体問題調査特別委員会」の調査報告書で、「従前より解体工事がずさんな状態で行われていたと考えられる」とし、建設リサイクル法第37条、第43条に基づく立入検査をし、法令遵守を徹底するよう指導を強化することを県に求めていた。これについて、立入調査を行ったようであるが、その詳細について伺いたい。

答 平成25年8月6日に、県土マネジメント部と景観・環境部局が連携し、平成24年4月から平成25年7月までに当該業者が解体を行った61件について立入検査を行った。

検査の結果、①請負契約の内容を記載した書面の作成及び相互交付が行われていない、②解体する建築物等の構造、工事時期、工程の概要及び分別解体等の計画などの事項を記載した書面の交付が行われていない、③分別解体等の方法、解体工事に要する費用等を記載した書面の相互交付が行われていない、などの違反があった。今後、受注の際に違反することがないよう勧告書にて指導した。引き続き、法令遵守するよう指導して参る。

その他の質問項目

●無歯科医地区での診療所の整備●中南部地域の広域幹線バスネットワークの維持方策●奈良県営競輪場における包括外部委託導入●奈良県の教育●障害児の地域における療育支援体制



代 表 質 問



健康寿命日本一に向けた取り組みについて

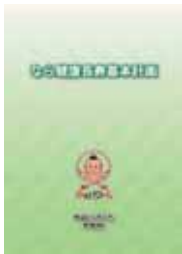
大国 正博議員(公明党)

問 なら健康長寿基本計画を策定されたが、計画目標である健康寿命日本一を達成するためには、計画の歯車をしっかりと回す必要があると考える。健康づくりの主体的担い手である市町村との連携・支援を含め、県は今後どのように取り組んでいくのか。

答 なら健康長寿基本計画では、健康寿命の延長に関連する健康指標を選定し、毎年、市町村別分析・評価を行う予定。また、健康寿命の延長との相関が強い健康行動については、来年度以降市町村とともに効果的な取組を進めていきたい。また、国家戦略特区として、「マイ健康カード特区」を提案したところ。さらに今年度は、県民が健康づくりに向けた取組を開始・継続できるための「健康ステーション」を設置し、自分の健康状態を気軽にチェックできるようにする予定。今後とも市町村との連携を強化し、健康寿命日本一を目指した取組を進めて参りたい。

その他の質問項目

- 多様な自然災害に対して住民に求められる対応
- 県の救急医療体制の現状と課題
- 近鉄大和西大寺駅周辺の交通対策
- 県北西部から中南和地域への道路アクセス
- 道路の点検
- 学校における防災対策
- いじめ対策



中小零細企業対策について

川口 正志議員(なら元気クラブ)

問 2010年6月、民主党政権で中小企業憲章が閣議決定されたが、中小企業の振興に向けた憲章の考え方は、現政権においても引き継がれるべきものであり、そうになっているかどうか検証されるべきものだと考える。県が行う中小企業の振興についてもこの憲章の考え方を基本において進められるべきだと考えるが、知事の所見を伺いたい。

答 本県の中小企業に対する具体的施策においては、中小企業基本法や奈良県中小企業振興基本条例を踏まえるとともに、中小企業憲章を尊重し、県の施策を着実に推進することが重要である。

県の施策をより着実に実施するため、今年4月に技術開発支援だけでなく、事業企画支援から研究開発支援、生産、流通、金融、販売等への支援を総合的、統合的、自発的に進める目的で、産業振興総合センターを設置し、技術力・経営力の向上に向けた支援を行っている。

今後とも、中小企業憲章の趣旨を踏まえながら、中小企業が活性化できるよう取り組んで参りたい。

その他の質問項目

- 財政問題
- 道州制反対
- 建築基準法に基づく監察行政
- 交通安全・交通規制



一 般 質 問



生駒市内の竜田川の河川改修や流域対策について

安井 宏一議員(自由民主党)

問 生駒市内の竜田川で進められている河川改修や流域対策など治水対策の現状と今後の見通しについて伺いたい。

答 生駒市小瀬町、俵口町及び谷田町には、河道の断面が小さく、溢水被害が発生しやすい地域があるため、小瀬工区と生駒工区で河川改修を実施している。

小瀬工区では現在2箇所の井堰改築に向け、水利組合と協議を進めており、生駒工区では今年度から工事を再開し、早期の被害解消に向け事業を進めていく。生駒市においては、昨年度から竜田川流域ため池の治水利用施設の整備を進めており、県としても事業費補助や技術的な支援を行って参る。

その他の質問項目

- 記紀・万葉プロジェクトの今後の取り組み
- 県産農産物の首都圏での販売
- 通学路の安全対策
- 産業振興総合センターの活動
- 県立学校施設の耐震整備の推進



駅の無人化問題について

今井 光子議員(日本共産党)

問 駅の人の配置は法的に定めがなく、県は国に対して、利用者の円滑な利用や安全安心の観点から、人の配置を義務付ける法的整備を求めると考えるがどうか。

また、奈良県内で駅を利用される人が安心して利用できるよう、今回の近鉄の駅係員無人化計画について、県から撤回を求めるべきではないか。

答 駅の無人化計画については、その実施に対して、十分な理解が得られるよう、関係地域への十分な説明を行うよう、本年7月に近鉄に対して、文書で申し出を行った。その後、関係地域で駅の無人化撤回を求める動きがあり、8月に改めて状況を県に報告するよう文書で求めたところ。駅はまちづくりにかかせないものであり、鉄道事業者は、地域振興に役立つ鉄道との意識を強く持つとともに、市町村においても、駅を含めた地域の活性化を図るために何ができるのか検討することが必要と考えている。

その他の質問項目

- 再生可能エネルギーの導入
- 東朋香芝病院問題と地域医療
- 生活保護制度における医療扶助の通院移送費
- 学童保育
- 源流を守るための森林の保全



吉野三町の都市計画における「線引き」の問題について

松尾 勇臣議員(奈良維新の会)

問 吉野三町の人口減少は深刻であり、吉野町と下市町は過疎地域に指定されているが、都市計画における「線引き」や近畿圏整備法による近郊整備区域の指定が吉野三町の発展の支障となっている問題について、県の見解と今後の対応を伺いたい。

答 「線引き」や「近郊整備区域」はまちづくりの手法のひとつであるが、手法の有用性を論ずる際には、「まちづくりビジョン」を持つことが先決ではないかと思う。

吉野三町のまちづくりを支援するため、平成22年度に県と吉野三町とで「吉野三町都市計画区域まちづくり検討会」を立ち上げ、その中で三町に対し「まちづくりビジョン」の作成の必要性を伝えてきた。しかしながら、現在も具体的なビジョンがないため、今年度、改めてビジョンを作成するよう助言しているところで、そのための作業について県は色々お手伝いをしていく所存。

その他の質問項目

- 歳出の抑制と効率化
- 南和地域公立病院新体制整備事業
- 今後の道路の維持管理
- 子宮頸がんワクチンの接種



一般質問



陸上自衛隊駐屯地の誘致について

秋本 登志嗣議員
(自由民主党改革)

問 知事はこれまで再三にわたり、関係各方面へ五條市への自衛隊駐屯地の誘致を強く要望してこられたが、その後の活動状況はどうか。また、県民の安全・安心の確立にもつながり多くの人も強く熱望する駐屯地誘致実現について、今後の見通しはどうか。

答 今年は、「防衛計画の大綱」見直し及び「中期防衛力整備計画」策定の年であるため、防衛大臣、防衛事務次官、陸上幕僚長等と面談し、国に対して強く働きかけを行ったところ。また、地元における対応として、五條市及び十津川村にて、陸上自衛隊第7施設群に山地徒歩行進訓練などを実施していただいた。誘致の実現に向けては、引き続き、五條市、防衛協会、県選出国會議員の方々と連携し、国に対して、さらに強く働きかけていきたい。

その他の質問項目

●紀伊半島大水害からの復旧・復興●災害時の孤立集落対策●台風18号による上野公園付近の浸水被害●いじめ問題



県立高校の空調設備の設置について

宮木 健一議員
(自由民主党)

問 県立高校における空調設備の設置状況はどうか、また県として今後どのように対応していくのか。

答 県立高校における空調設備の設置状況は、平成25年9月1日現在、設置率43.5%となっている。このうち、普通教室の設置率は50.7%となっており、県での設置は、体温調節が困難な生徒が在籍する特別な事情があった2教室で、残りは行政財産の使用許可を受けて育友会等が設置したものである。空調設置については、検討の必要性を認識しており、昨年度より導入方法等も含めた検討を始めていくところ。

その他の質問項目

●子どもの規範意識や社会性の醸成●中学生の体力向上●トップアスリートやプロスポーツの活用



大和川流域の治水対策について

梶川 虔二議員
(なら元気クラブ)

問 大和川水系河川整備計画に記載されている国直轄事業の100万㎡の遊水地は、誰が責任を持って、いつ頃を完成の目途としているのか。昭和57年の大和川大水害から30年以上過ぎたが、浸水被害は未だ解消されておらず、対策を急ぐ必要があるのではないか。また、この遊水地整備は、下流側にも効果があることから、大阪府にも負担を求めるべきと考えられるか。

答 現在、国において、国管理区間の大和川水系河川整備計画の策定作業を進めており、国土交通大臣が概ね30年間で整備を実施していくこととなっている。大和川流域全体の治水安全度の向上に大きく貢献する直轄遊水地の整備を強力に進める必要を感じており、県としても早期完成が図れるよう積極的に関わって参る所存。また、遊水地については下流側にも効果があることから、適切な役割分担や費用負担のもと、取り組まれるよう国に働きかけて参りたい。

その他の質問項目

●三室病院のあり方と建て替え●正倉院の復元宝物展●障害者優先調達推進法への対応●橋りょうやトンネルの老朽化対策●県立竜田公園の整備

議会広報メニュー

奈良県議会では議会の審議状況等を県民の方々に、テレビ放映、インターネット中継等により発信しています。

テレビ
中継
放映

代表・一般質問及び2月定例会知事提案理由説明を奈良テレビ放送で生中継により放映しています。次期定例会は2月下旬の予定です。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

毎定例会の全日程及び常任・特別委員会、予算審査特別委員会、決算審査特別委員会の審議の様子について、中継及び録画配信しています。

インターネット
動画配信

奈良県議会ホームページ

<http://www.pref.nara.jp/1690.htm>

奈良県議会

検索



ブラック企業対策について

宮本 次郎議員
(日本共産党)

問 奈良県でも、若い世代を中心に広がる違法な労働実態を的確に把握するとともに、厚生労働省とも連携して指導・監督を徹底する、あるいは、企業名を公表するなどのブラック企業対策を進めていくことが必要と考えるかどうか。

答 県では、労働者の権利保護には働く人自らが労働関係法令を知っておくことも必要と考えており、関係法令を分かり易く解説する冊子の作成、県発行の労働時報への掲載、就職を希望する高校生への説明会を通じての周知に取り組んでいるほか、労働相談記録を類型化し、検索機能をつけたホームページの作成に着手している。また、労働相談などで法令違反の事実が判明した場合には、労働基準監督署に積極的に情報提供するなど、労働局と連携を図り、労働者の権利保護に努めて参りたい。

その他の質問項目

●零細企業への支援●若草山への移動支援施設の整備●地域スポーツを支える人材育成●高校における特別支援教育の充実●平群町椿井地区における道路の渋滞解消と安全対策



中和幹線について

森山 賀文議員
(民主党)

問 中和幹線全線開通1年後の交通状況の調査の中で、見えてきた課題について、今後どのように解決を進めるのか。また、利用者アンケートの中で出てくる課題や県民の声を今後どのように反映させるのか。

答 調査の結果、香芝・桜井間の所要時間は短縮し、国道165号の5箇所の渋滞解消や安全性の向上等の効果を確認。一方、土橋町南や葛本町交差点等で著しい渋滞が発生しているため、右折レーンの延伸を検討し、京奈和自動車道の早期の工事着手を国に要望している。利用者アンケートでは、便利になったとのこと意見がある一方で、信号の連動が悪い、スピードを出す車があり危険等のご意見もあり、今後、県警・沿線市町等からなる連絡調整会議で議論し解決に努めて参る。

その他の質問項目

●県立大学の改革●県立医科大学附属病院●県域水道●高齢者の防犯対策

国への意見書

この定例会では、意見書5件を可決しました。

意見書は、内閣総理大臣のほか関係大臣などに提出しました。

【意見書】

- 京奈和自動車道の早期整備を求める意見書
- アルコール健康障害対策基本法(仮称)の制定を求める意見書
- ホテル・旅館等の建築物の耐震化の促進に関する意見書
- 駅無人化問題への対応を求める意見書
- 若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書

高校生議会が開催されました

8月22日、奈良県議会でも高校生議会が、県内の高校6校から27名が参加して開催されました。

本会議では、高校生議長の議事進行で会議が進められ、参加した高校生議員からは、スペシャリストを育てる教育、県内消費拡大のための方策、奈良県の宿泊施設の現状と課題、奈良県の観光地としての発展、林業及び木材産業の振興、関西広域連合への参加など、18の質問がされました。また、活力ある奈良県づくりや歴史博物館の建設など6つの提言が提案され、全会一致で採択されました。

本会議終了後の県議会議員との意見交換会では、高校生から「県議会議員や高校生の皆さんと政治に関して意見交換をし、もっと奈良のことに関心を持った」「いろいろな特色のある学校の話聞き、自分の世界が広がった気がする」などの発言がありました。

県議会議員からは、「地域の声、自分の考えというものを表に出していただき、私達も勉強させていただいた」「高校生の方が政治に関心を持っていると聞いて、本当にうれしく思った」などの感想がありました。

